

い
ず
み
さ
の
教
育



問合先
学校教育課

「非行防止・犯罪被害防止教室」

本市では、子どもたちが健やかに成長し、楽しく充実した学校生活を送れるよう、様々な教育活動を行っています。非行や暴力行為、いじめなどの問題行動が多様化している現在、子どもたちの健やかな成長を育むためには、家庭・地域と学校のみならず、警察なども連携し、効果的な取組を行うことが大切になってきています。

府内における現状として、令和2年度、刑法犯少年の検挙・補導は、中学生以下の少年が全体の約3割を占め、その約半数が、窃盗によるものです。また、近年普及しているSNSの利用に起因した凶悪事件や性犯罪などの被害に巻き込まれる小・中学生が増加しています。

そんな中、本市では、警察や少年サポートセンターなどと連携しながら、毎年、「非行防止・犯罪被害防止教室」を実施しています。小学5年生は岸和田少年サポートセンター、6年生は泉佐野警察署の少年係から、ペープサートやスライドを交えながら、「非行とは何か」「社会のルールを守るこの大切さ」「被害者や家族の気持ちを考え

ることの大切さ」「万が一、非行に誘われたとき、断る勇気を持つこの大切さ」「犯罪被害に遭わないための対処方法」などについて学んでいます。

さらに、中学校では、日常的に巡回している本市の生徒指導支援員（警察OB）が「万引き」「飲酒・喫煙」「覚せい剤・大麻」「いじめ」「SNS」の問題について集会などで指導し、ルールを守ることが、自分の身を守ることに、みんなの安全・安心につながるということを学びます。

みんなが安心して生活できるよう、社会にはルールがあります。子どもたちも立派な社会の一員です。子どものころから社会のルールをしっかりと守る習慣を身につけていけるように、家庭・地域と学校はもちろんだと、警察なども連携して、子どもたちの健全育成に努めています。

そして何より、受け入れられ、認められ、見守られているという安心感が子どもたちの健全育成につながりますので、市民のみなさんにも、子どもたちの温かい見守りをお願いします。

学 校 園 紹 介



校区の施設を活かして「一小スケート体験週間」
～第一小学校～

昨年から始めたスケート体験週間。新型コロナウイルス感染拡大予防のために様々な行事の中止や延期のなかで「思い出に残るものを一つでも」と考え、実施しました。

10月14日～27日の間に今年も校区内にある閑空アイスアリーナで、3密を避けるため、学年ごとに2回に分け、スケート体験週間を実施することができました。

子どもたち（3年生は初めてでした）は、昨年の経験から準備も早く、インストラクターの人に褒められていました。準備体操の後、転倒した時に起き上がる練習をリンク外でしました。



「いっぱい滑りたい人」「まずは、じっくりと滑りたい人」に大きく分かれ、手すりをしっかり持ちながら氷上で感覚を取り戻し、楽しく滑りました。

最初のうちは顔がこわばっていましたが、徐々に笑顔となって本当に楽しそうでした。このスケートを通して「やればできること」「一人ひとりルールをしっかりと守ればみんなが楽しくすごせること」を学びました。

1・2年生は、スケート体験のかわりに二色の浜へ遠足に出かけました。快晴で、楽しい1日を過ごしました。



生徒主体の教育活動をめざして
～佐野中学校～

本校は、「自ら考え、判断し、主体的に行動することができる生徒」をめざす生徒像とし、日々、教育活動に取り組んでいます。その中の子どもたちの自主的な活動である生徒会活動より2つの委員会の活動を紹介します。



【文化委員会】多くの生徒が読書を楽しめるように、新刊やおすすめ本の紹介などを作成し、全校生徒へ配付をしています。また、文化委員会の生徒が、読んでほしい本を選び、自分のクラスに「学級文庫」として置く取組を行っています。その他、お昼休みや放課後に図書館の運営のお手伝いをしています。

【環境委員会】学習環境を整えるため、ポスター掲示をして全校生徒に呼び掛けたり、様々なキャンペーンをしたりして、佐野中の仲間が、心温かくなるように玄関に花のプランターを設置し、水やりをしています。



また、今年度も、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「すこやかフェスタさの」が学校ごとの開催となりました。本校では花壇整備をすることになり、環境委員会の生徒が、PTAのみなさんと一緒に、玄関前のプランターや体育館前の花壇に花を植えてくれました。

